

第137回

2019. 5. 27

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業297社、回答企業180社、回答率60.6%
調査対象期間	2019年1～3月期の実績、4～6月期および7～9月期の予想
調査時点	2019年4月上旬～下旬

要約

2019年1～3月期の業況判断(季節調整済)は悪化 先行き4～6月期はほぼ横ばい、7～9月期は改善の見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断 BSI (季節調整済)について、2018年10～12月期と比べ2019年1～3月期(前期→当期： $\Delta 7 \rightarrow \Delta 12$)は悪化した。前回調査時の予想($\Delta 6$)と比べても、悪化している。もっとも、過去(2004年1～3月期から2019年1～3月期の15年間)の業況判断 BSI の平均 $\Delta 16$ と比較すると、上回って推移している。業種別にみると、製造業(同： $\Delta 9 \rightarrow \Delta 8$)はほぼ横ばいとなった一方、非製造業(同： $\Delta 6 \rightarrow \Delta 13$)は悪化した。

なお、売上げ BSI (同： $7 \rightarrow \Delta 8$)、収益 BSI (同： $2 \rightarrow \Delta 10$)もともに悪化した。

先行きの業況判断 BSI は、4～6月期予想($\Delta 11$)がほぼ横ばいの一方、7～9月期予想(0)は改善の見通しである。

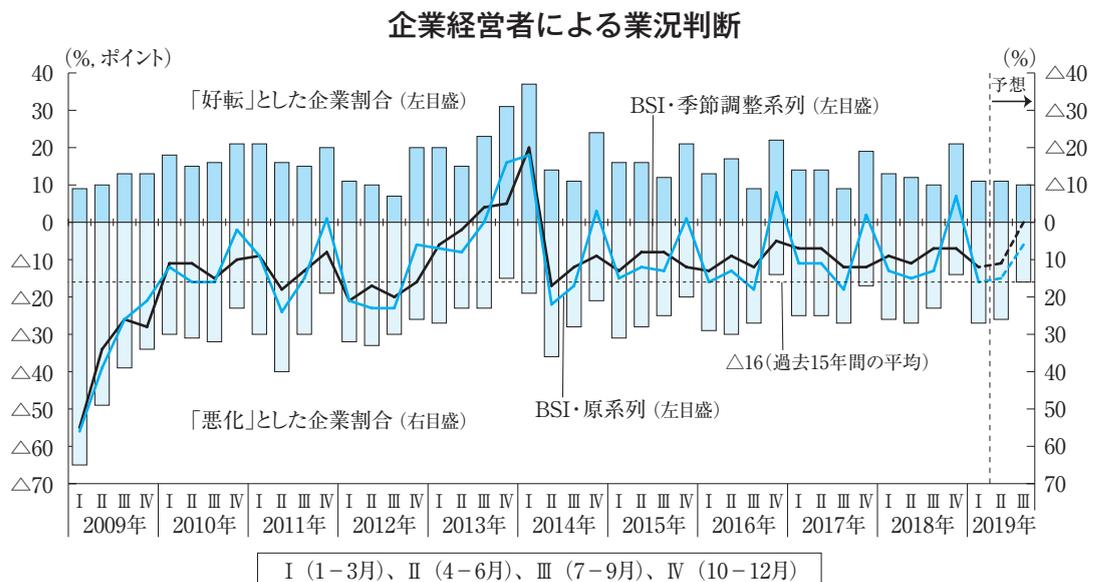
2019年1～3月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期よりも上昇し、総投資額も製造業、非製造業とも増加したことにより、同25.9%増の約232億円となった。先行き4～6月期の計画は、実施企業の比率は前年同期に比べやや低下、総投資額も同35.2%減の見込みとなっている。

今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業、非製造業とも低下している。

1. 概況
(全業種)

【2019年1～3月期の実績】 業況判断(季節調整済)は前期と比べ悪化

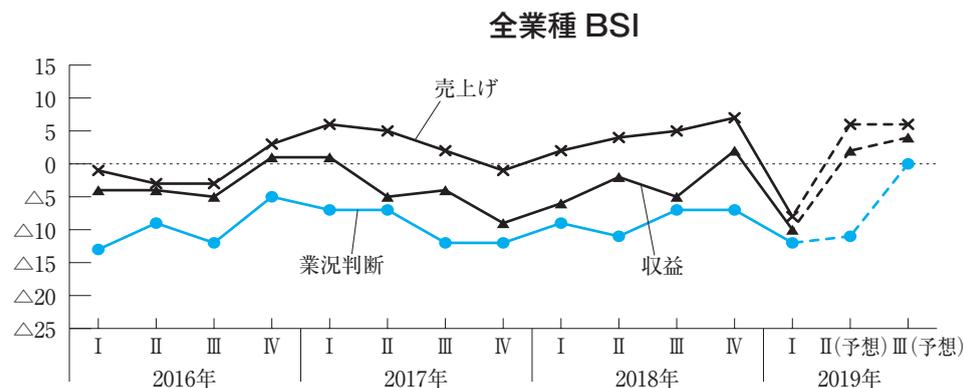
県内企業の当期(2019年1～3月期、以下同じ)のBSI(業況が「好転(増加)」回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値(季節調整済))をみると、前期と比べ、売上げBSI(7→△8)、収益BSI(2→△10)、業況判断BSI(△7→△12)はともに悪化した。気温が高めに推移し季節商品の売れ行きが鈍かったなど、個人消費が盛り上がり欠けたことなどが現れた結果となっている。



注：季節調整は、米国センサス局開発の X-12-ARIMA により実施

【2019年4～6月期・7～9月期の予想】 業況判断は4～6月期はほぼ横ばい、7～9月期は改善

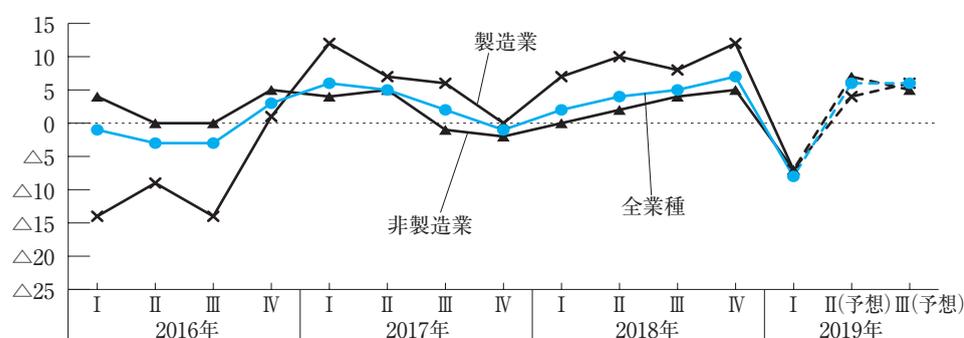
4～6月期の予想は、1～3月期に比べ売上げBSI(△8→6)、収益BSI(△10→2)が改善する一方、業況判断BSI(△12→△11)はほぼ横ばいの見通しである。7～9月期の予想は、4～6月期に比べ、売上げBSI(6→6)は横ばい、収益BSI(2→4)はやや改善、業況判断BSI(△11→0)は改善する見通しである。



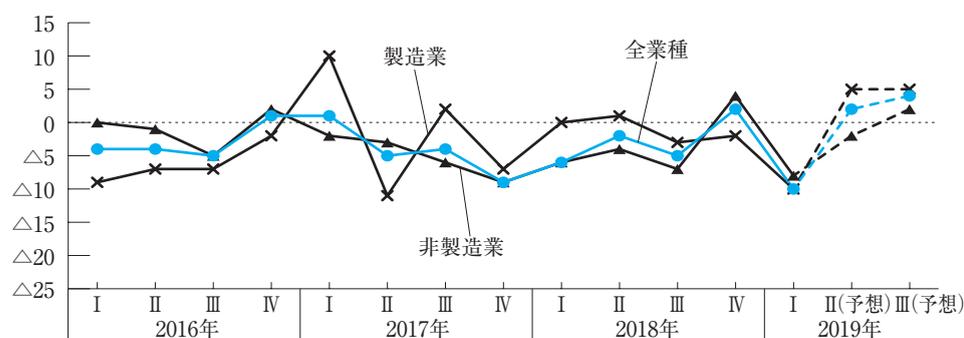
4～6月期に売上げ・収益BSIが改善し、7～9月期には後を追う形で業況BSIが改善する予想となっている。生産面では、米中貿易摩擦の影響が引き続き懸念材料となっているが、県内では中国経済減速の影響が大きい半導体製造装置や自動車関連の企業が少ないこともあって、今回の予想では大きな影響はないと判断している企業が多い模様である。また、内需面を見ても、雇用環境が堅調に推移する中で、改元およびゴールデンウィークの休日増加が個人消費を下支えすると見込む企業が多いことも背景にある。

なお、消費税率引き上げが視野に入っているものの、7～9月期の売上げBSIなどを見ると、駆け込み需要はあまりない予想となっている。過去に見られた引き上げ後の反動減を抑制するための施策がさまざま打ち出される中、業況の改善予想にもつながっている。

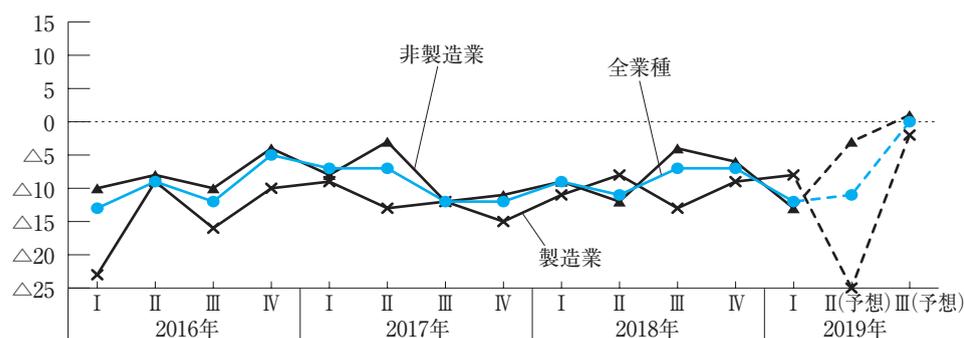
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

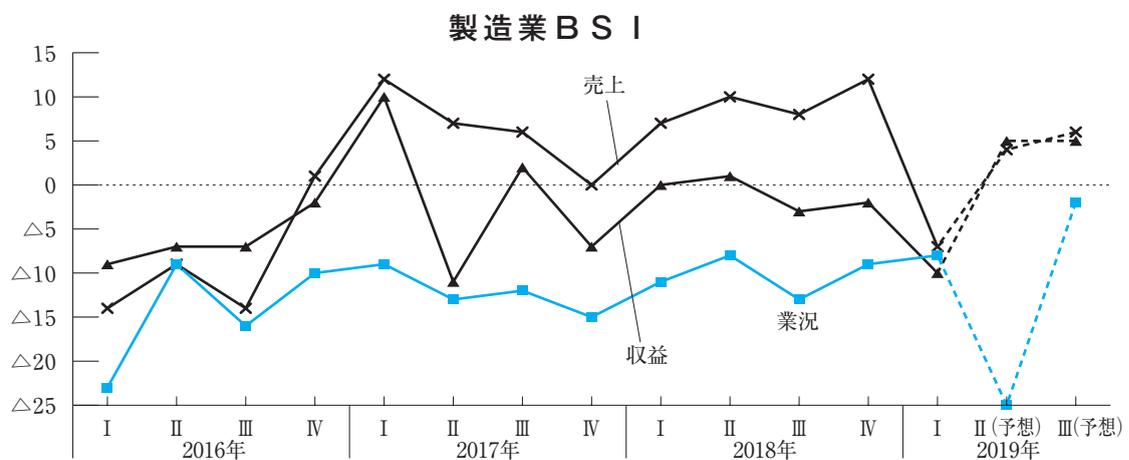
【製造業の現状】 業況判断はほぼ横ばい

当期は、前期と比べ、売上げ BSI (12→△7)、収益 BSI (△2→△10)は悪化の一方、業況判断 BSI (△9→△8) はほぼ横ばいとなった。売上げ・収益 BSI は前々年・前年同期に見られた改善とは逆の動きとなったが、業況判断の悪化までには至らなかった。

【先 行 き】 業況判断は、4～6月期は悪化の一方、7～9月期は改善の見通し

4～6月期の予想をみると、当期に比べ、売上げ BSI (△7→4)、収益 BSI (△10→5) は改善の一方、業況判断 BSI (△8→△25) は悪化する見通し。続く7～9月期の予想は、4～6月期に比べ、収益 BSI (5→5) は横ばいの一方、売上げ BSI (4→6)はやや改善、業況判断 BSI (△25→△2)も改善する見通し。

内外の情勢に対して敏感な企業が多い製造業での業況判断は、米中貿易摩擦など不透明感が根強い中で、一時的には悪化する見込み。もっとも、中国経済減速の影響が大きい半導体製造装置や自動車関連の比率がさほど高くないこともあって、こうした状況が長期化・深刻化すると予想する企業が少ないことが示されている。



3. 非製造業の動向

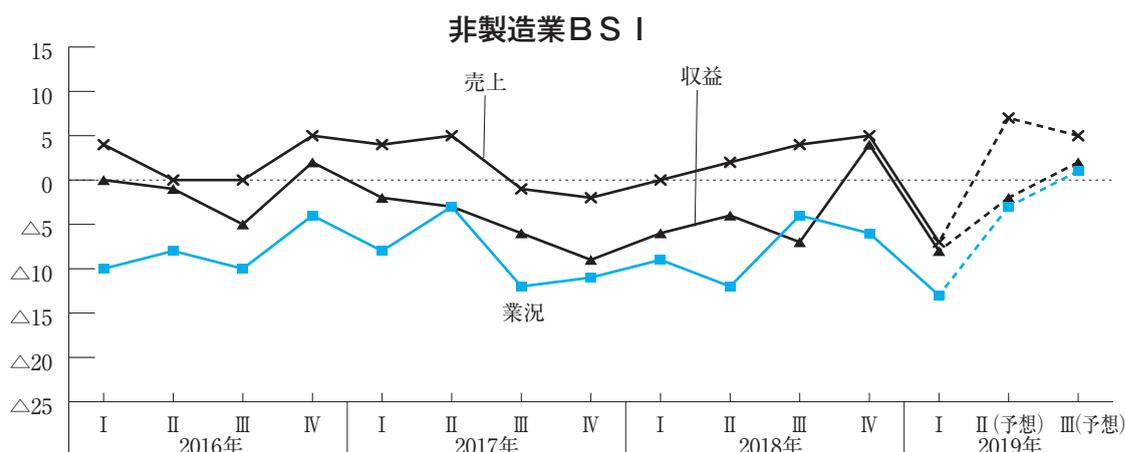
【非製造業の現状】 業況判断は悪化

当期は、前期に比べ、売上げ BSI (5→△7)、収益 BSI (4→△8)、業況判断 BSI (△6→△13) はともに悪化した。気温が高めに推移し季節商品などの売れ行きが鈍かったなど、個人消費が盛り上がりを欠いたことなどが現れた結果となっている。

【先 行 き】 業況判断は、4～6月期は改善、7～9月期もやや改善の見通し

4～6月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI ($\Delta 7 \rightarrow 7$)、収益BSI ($\Delta 8 \rightarrow \Delta 2$)となり、業況判断BSI ($\Delta 13 \rightarrow \Delta 3$)も製造業とは逆に改善する見通し。改元やゴールデンウィークの休日増加がある中、特に運送業、サービス業での改善が寄与している。

7～9月期の予想は、4～6月期予想に比べ、売上げBSI ($7 \rightarrow 5$)はやや悪化の一方、収益BSI ($\Delta 2 \rightarrow 2$)、業況判断BSI ($\Delta 3 \rightarrow 1$)はやや改善する見通し。過去に発生したような大規模な消費税率引き上げ前の駆け込み需要を見込む企業は、そう多くないことが示されている。

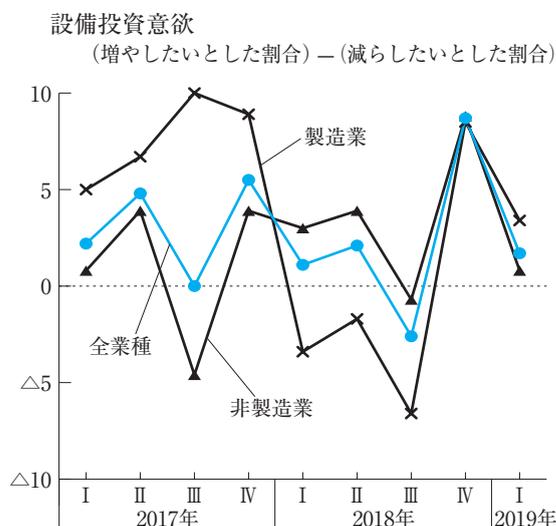


4. 設備投資の動向

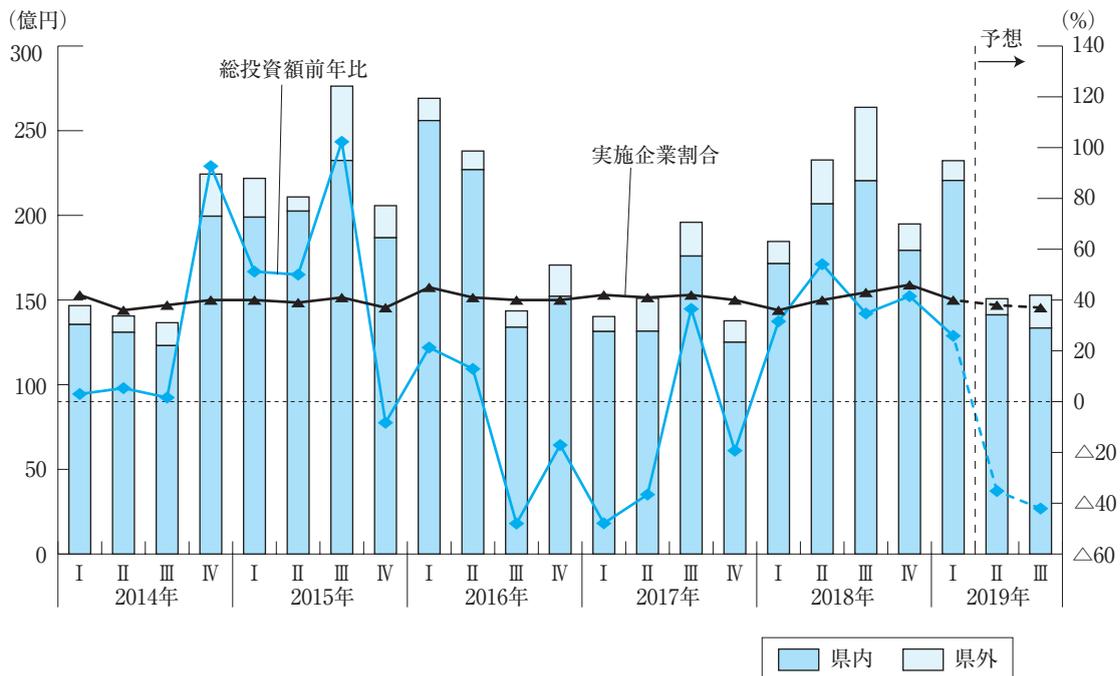
回答企業（全産業）のうち、2019年1～3月期において1百万円以上の設備投資（新リース契約を含む）を実施した企業は全体の40.0%、総投資額は232億30百万円（県内投資額は220億60百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業、非製造業とも大幅に増加し、全体では25.9%増となった（前期比でも19.2%増）。また、実施企業の割合は4.2ポイント上昇した。

一方、先行きの計画をみると、4～6月期の実施企業割合は37.8%で前年同期より2.6ポイント低下し、総投資額は約151億円で前年同期比35.2%減となる見込み。また、7～9月期の総投資額は、約153億円で同42.1%減の見込みである。

今後1年間の設備投資欲（全産業）は、「増やしたい」が16.1%、「減らしたい」が14.4%、「ほぼ変わらない」が69.4%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率（+1.7ポイント）は、前期（+8.7ポイント）と比べ低下している。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、48.3%で前年同期より5.9ポイント上昇した。総投資額は、211億75百万円(前年同期167億19百万円)で、大手電気機械を中心に前年同期比26.7%増となった。うち、県内投資額は205億45百万円(同157億1百万円)となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」の比率がやや低下の一方、「増産・拡販のため」、「研究開発」がやや上昇した。

一方、先行きの計画を見ると、4～6月期の総投資額は約137億円で前年同期比35.0%減、7～9月期も約133億円で同41.5%減の見込みである。

今後1年間の投資意欲について、「増やしたい」とする企業割合(22.4%)が「減らしたい」(19.0%)を3.4ポイント上回ったが、この差は2期ぶりに低下した。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、36.1%で前年同期より3.2ポイント上昇した。総投資額は、20億55百万円(前年同期17億39百万円)で、スーパーなど小売業で増加したことにより同18.2%増となった。県内投資額は15億15百万円(同14億48百万円)となっている。

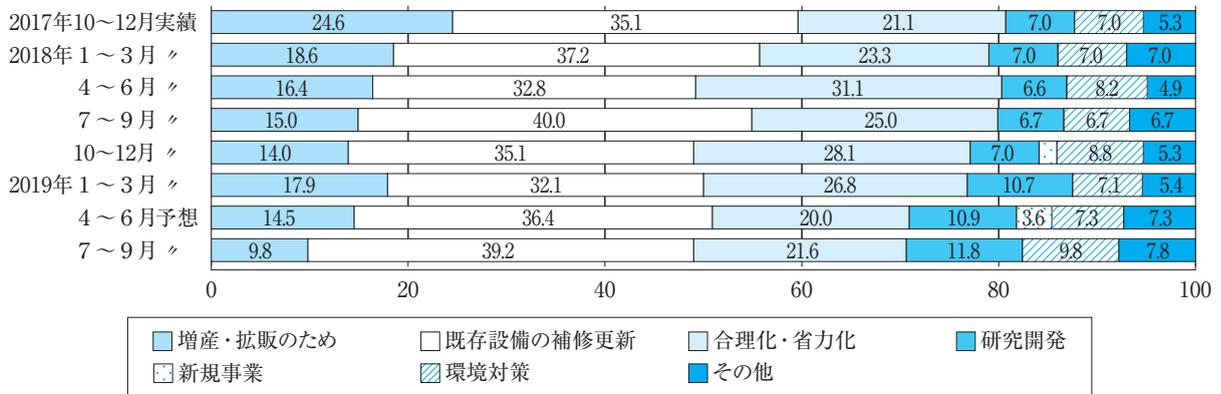
目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」の比率が上昇、「合理化・省力化」もやや上昇の一方、「拡販のため」が低下した。

一方、先行きの計画を見ると、4～6月期の総投資額は約14億円で前年同期比36.7%減、7～9月期も約15億円で同56.9%減となる見込みである。

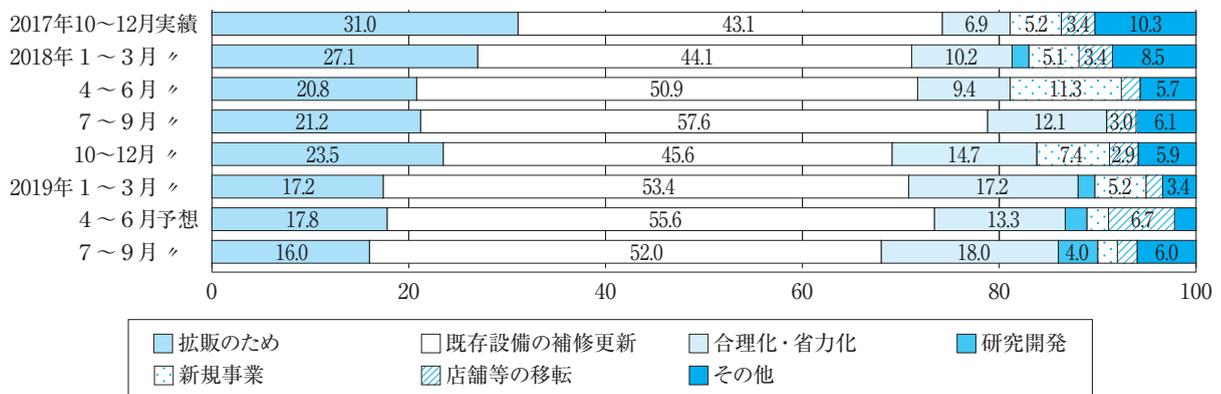
今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合(13.1%)が「減らしたい」(12.3%)を0.8ポイント上回ったが、この差は製造業と同様に2期ぶりに低下した。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	0	0	0
	1～3百万円未満	0	0	0
	3～5百万円未満	3	0	3
	5～10百万円未満	2	0	2
	10～50百万円未満	99	28	71
	50～1億円未満	46	19	27
	1億円以上	30	11	19
	計	180	58	122
従業員数	10人未満	16	3	13
	10～30人未満	33	10	23
	30～50人未満	34	10	24
	50～100人未満	36	5	31
	100～200人未満	28	10	18
	200～300人未満	12	9	3
	300～	21	11	10
計	180	58	122	

		(社)	
業種		回答	
製造業	食料品	8	
	繊維製品	4	
	木材・木製品	9	
	パルプ・紙	3	
	化学工業	7	
	窯業・土石	4	
	機械・金属	17	
	その他	6	
	計	58	
非製造業	建設業	16	
	運送業	10	
	卸売業	34	
	小売業	24	
	サービス業	37	
	その他	1	
計	122		
総数	180		

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2017年7～9月実績	9	64	27	△18	△12	8	65	27	△19	△12	9	64	27	△18	△12
10～12月々	19	64	17	2	△12	16	63	21	△5	△15	20	65	15	5	△11
2018年1～3月々	13	61	26	△13	△9	14	55	31	△17	△11	12	64	24	△12	△9
4～6月々	12	61	27	△15	△11	13	69	18	△5	△8	11	58	31	△20	△12
7～9月々	10	67	23	△13	△7	8	64	28	△20	△13	11	68	21	△10	△4
10～12月々	21	65	14	7	△7	19	62	19	0	△9	22	66	12	10	△6
2019年1～3月々	11	62	27	△16	△12	12	62	26	△14	△8	12	60	28	△16	△13
4～6月予想	11	63	26	△15	△11	5	69	26	△21	△25	14	61	25	△11	△3
7～9月々	10	74	16	△6	0	8	75	17	△9	△2	12	72	16	△4	1

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2017年7～9月実績	28	43	29	△1	2	30	43	27	3	6	27	43	30	△3	△1
10～12月々	40	39	21	19	△1	41	36	23	18	0	39	41	20	19	△2
2018年1～3月々	28	38	34	△6	2	29	34	37	△8	7	27	41	32	△5	0
4～6月々	30	35	35	△5	4	32	46	22	10	10	29	30	41	△12	2
7～9月々	28	46	26	2	5	32	41	27	5	8	27	48	25	2	4
10～12月々	47	33	20	27	7	49	31	20	29	12	46	34	20	26	5
2019年1～3月々	24	36	40	△16	△8	21	36	43	△22	△7	26	35	39	△13	△7
4～6月予想	26	45	29	△3	6	28	48	24	4	4	25	43	32	△7	7
7～9月々	23	57	20	3	6	24	55	21	3	6	22	59	19	3	5

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2017年7～9月実績	23	46	31	△8	△4	27	45	28	△1	2	22	46	32	△10	△6
10～12月々	33	44	23	10	△9	36	34	30	6	△7	32	48	20	12	△9
2018年1～3月々	23	43	34	△11	△6	27	37	36	△9	0	21	46	33	△12	△6
4～6月々	24	41	35	△11	△2	27	46	27	0	1	23	39	38	△15	△4
7～9月々	20	50	30	△10	△5	22	50	28	△6	△3	20	49	31	△11	△7
10～12月々	43	35	22	21	2	41	28	31	10	△2	44	38	18	26	4
2019年1～3月々	22	40	38	△16	△10	19	43	38	△19	△10	23	39	38	△15	△8
4～6月予想	23	47	30	△7	2	26	52	22	4	5	21	45	34	△13	△2
7～9月々	18	63	19	△1	4	19	64	17	2	5	18	62	20	△2	2

(注) B S I = (好転) - (悪化)